



松本市図書館だより

平成27年 1月4日発行 第22号

編集・発行 松本市図書館
〒390-0861
松本市蟻ヶ崎 2-4-40
電話/0263(32)0099



謹賀新年



本年も利用者の皆さまに満足していただけるよう、
図書館ご利用のお手伝いをさせていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

季節の本のご紹介

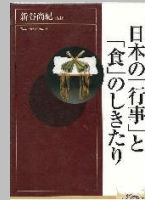
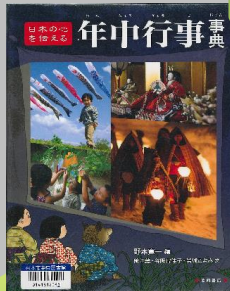
門松・しめ飾り

門松は新年を迎える際に、年神(としがみ)様がおりにくる目印として木を立てたのが始まり。しめ飾りも神様を迎えるにふさわしい神聖な場所を示すものです。

七草粥

春の七草「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぞ、すずな、すずしろ」を入れたお粥を食べて、その年の無病息災を祈るもの。若菜の生命力を体内に入れることで悪い気をはらうと考えられていたようです。

1月ということで『お正月』にまつわる言葉や風習に関する本を集めました。日本の伝統には様々な由来があります。その一部を紹介させていただきます。



- ・日本人の心を伝える 年中行事事典 (2013) 野本寛一編/岩崎書店
- ・日本の「行事」と「食」のしきたり (2004) 新谷尚紀監/青春出版社
- ・日本人のしきたり (2003) 飯倉晴武著/青春出版社

お年玉

もともとは年神様の特別な力「年霊(としだま)」がこめられたお供えのお餅のこと。年霊のこもったお餅を年少者に分け与えたのが始まりともされています。

松本のあめ市



「松本あめ市」松本あめ市実行委員会編/高美書店 (1997) 松本地方の新春の風物詩となっている「松本あめ市」ですが、その歴史と起源について知っている人は少ないのでは？

「おしょうがつ おめでとう はじまりの日！」

ますだ ゆうこ作/文溪堂 (2014) お正月ってどんな日なの？ 1年のはじまりを祝うお正月のお話です。巻末にはお正月の料理やトリビアなど豆知識が満載です。



「1月のえほん」長谷川 康男/監修/PHP研究所 (2010) 1月にまつわる行事・食べもの・できごと・あそび等を紹介。季節を感じ、楽しめて、学習にも役立つ絵本です。

イベント情報

空港図書館

新春!かるた大会

日時: 1月17日(土) 13:30~15:00
場所: 空港図書館 会議室
対象: 小学生(保護者同伴可)
定員: 20名
参加費: 無料 **要申し込み**
空港図書館 ☎ 86-8460

ピブリオトーク

日時: 1月30日(金) 14:00~15:30
場所: 空港図書館 会議室
対象: 20歳以上の方
定員: 5名 持ち物: 紹介する本
テーマ: ごちそうさん! おいしいはなし
参加費: 無料 **要申し込み**

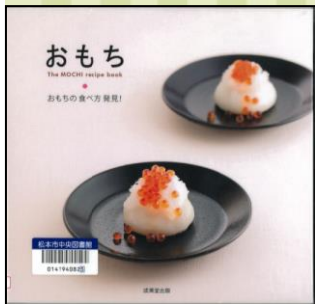
本郷図書館

新春!落語会

日時: 1月17日(土)
第一部 14:00~14:30 子供向け
第二部 14:40~16:00 大人向け
場所: 本郷公民館 2階大会議室
対象: 小学生から大人まで
定員: 60名
参加費: 無料 **要申し込み**
本郷図書館 ☎ 46-1262

新しい年を明るく笑顔で迎えましょう!

新刊のご案内



『おもち』

入江 亮子／監修・料理 成美堂出版【596 才 実用赤8 所蔵館：中央】
お正月やお祝いの時に欠かせない「おもち」。おもちの白くて柔らかく伸びのある食感は好きだけど、いつも同じ調理法でマンネリ気味…なんて方も多いのでは？
つきたておもちのシンプルな味わい方、色んな種類の雑煮や日本酒に合うおつまみもちなど様々なレシピが掲載されているので、おもちの新しい美味しさを発見できます。

『カンガルーケアと完全母乳で赤ちゃんが危ない』

久保田 史郎／著 小学館【493.9ク 所蔵館：梓川、波田】
今までカンガルーケアは良いとされ病院で進められてきました。著者である久保田産婦人科麻酔科医院長は「完全母乳はしてはいけない」「カンガルーケアはしてはいけない」と今までとは異なる視点で書かれている本です。一度目を通してみるのもいいかもしれません。



予約本ベスト5

平成26年11月15日～
平成26年12月15日受付

一般書

- 1位 『キャロリング』(Caroling)
有川 浩／著、幻冬舎
- 2位 『インデックス』(姫川玲子シリーズ6)
誉田 哲也／著、光文社
- 3位 『3時のアッコちゃん』
柚木 麻子／著、双葉社
- 4位 『物語のおわり』
湊 かなえ／著、朝日新聞出版
- 4位 『自覚』(隠蔽操査5.5)
今野 敏／著、新潮社

児童書

- 1位 『まどから★おくりもの』
(おはなし会用大型絵本)
五味太郎／作・絵、偕成社
- 2位 『鹿の王 上』(生き残った者)
- 3位 『鹿の王 下』(還って行く者)
上橋 菜穂子／著、KADOKAWA
- 4位 『バスでおでかけ』(おはなし会用大型絵本)
間瀬 なおかた／作・絵、チャイルド本社
- 5位 『ぐりとぐらのおきやくさま』
(おはなし会用大型絵本)
中川 李理恵／文、福音館書店

図書館に聞いてみよう!



【今月の事例】

年賀状の由来は？いつまでだったら出してもいいの？

- Q. 年賀状の由来は？
いつまでだったら出してもいいの？
- A. ア『総合百科事典ポプラディア8』(ポプラ社 2011年)
イ『日本大百科全書 18』(小学館 1994年)
ウ『手紙・はがき基本文例集』(主婦の友社 2008年)

ア、イの資料より、平安から明治の初めにかけて行われていた新年の挨拶回りが、現在の年賀状に変わっていったことが分かりました。また、郵便制度が整い、誰でも簡単に郵便を送ることが可能になったため、普及していったと考えられます。また初めて「お年玉つき年賀葉書」が発行されたのは昭和24年(1949年)で、これによりさらに年賀状を送る人が増えました。

続いて、ウの資料から、年賀状は松の内(1月7日まで)に出すのが一般的であることが分かりました。これを過ぎてしまう場合は、松の内が明けてから立春(2月4日頃)までの間に出す「寒中見舞い」となります。

図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についてもお調べしていますので、お気軽にご利用ください。

編集後記

あけましておめでとうございます。今年も図書館をよろしく願います。寒い時期はまだ続きます。コタツに入りながらゆっくりと読書を楽しみませんか？風邪などひかないように気を付けてお過ごしください。

FMまつもと 今月の出演

1月7日(水) 13:00～

チャンネル：79.1MHz

※放送日等変更になる可能性もあるのでご了承ください